

擧

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和6年 4月19日(金) Vol.03

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も自分も大切に」「感動・感謝を大切に」

「団結・協力を大切に」「命を大切に」



【ホームページへ】

みんなで宇宙へ・みんなの未来へ

今年、成田市は市制70周年を迎え、様々な記念事業に取り組んでいます。今回、その一環として、「児童生徒の集合写真を、宇宙に届ける」という企画が進められ、本校も参加しました。

15日(月)、まぶしい日差しの下で、全校生徒が花壇の前に集まって写真を撮りました。カメラマンの合図に集中して、いい笑顔で撮れたようです。



【1年生が早々と並び始めました】



【2年生も外に出てきて場所を確認中】



【3年生も集まってきました】



【新しい制服の1年生、伝統的な制服の2年生、ジャージの3年生。カメラには慣れ親しんでいるけれど、普段と違うシチュエーションに、何となくソワソワ。既にカメラマンが3階のベランダで準備しています。まもなく撮影開始です】

「こども宇宙プロジェクト」と銘打ったこの企画は、生徒の書いたメッセージカードや生徒の写真をモザイクアートにしてロケットに搭載し、ISS（国際宇宙ステーション）に送る、というもの。

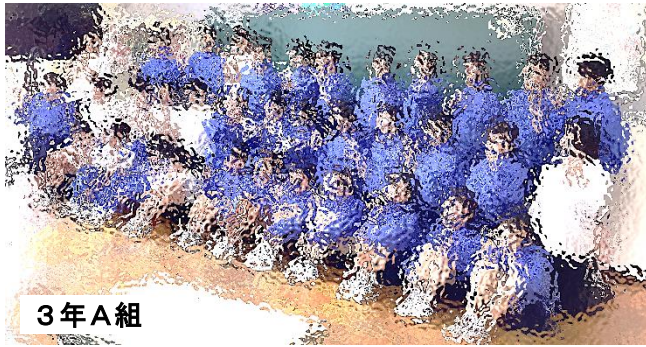
宇宙に打ち上げられる、自分たちの写真。そこからさらに憧れや想像を広げて、いつか地球を飛び出す人や、月面に降り立つ人が、本校の中から現れるかもしれません。もしかすると、その頃には、宇宙への観光旅行が、本当にできるようになっているかもしれません。夢はどんどん広がります。

私が幼かった頃、「21世紀には、月まで観光旅行に行けるようになる」などと聞いたことがありますが、実際に21世紀に生きてみると、まだまだ実現には、時間がかかりそうだと分かります。それでも諦めずに夢を描いてきた人がいるから、人類はこれまでに、様々な進歩や発展を遂げてきました。宇宙進出のみならず、あらゆる技術や発明は、人々の「こんなことが、できたらいいなあ…」という願いが、きっかけになっているのだと考えます。

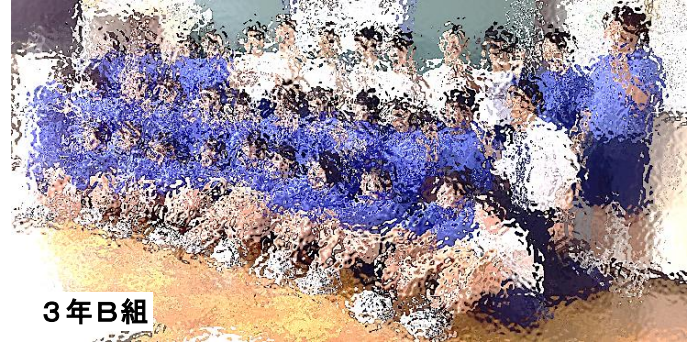
次に、各教室で、学級ごとの撮影を行いました。初めに、将来の夢などをしたためたメッセージボードを持って撮影し、次に、いろいろなポーズで撮りました。

学級開きから3週間が過ぎ、それぞれの環境に慣れてきた人も、多いことでしょう。リラックスした温かな雰囲気、その時の笑い声が聞こえてきそうな、楽しい表情の写真になりました。

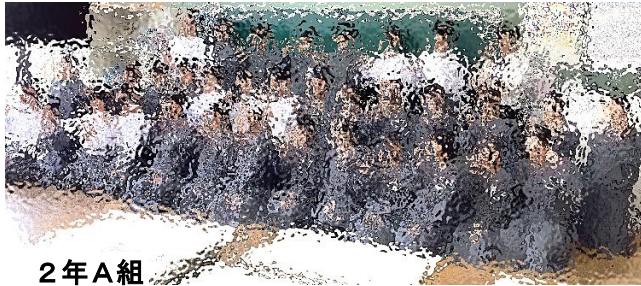




3年A組



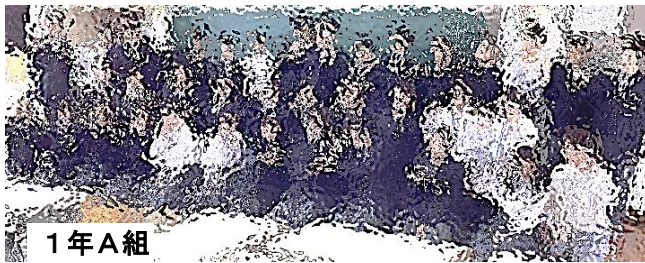
3年B組



2年A組



2年B組



1年A組



1年B組

一人ひとりが掲げたメッセージボードには、宇宙に行かずとも、自分の未来に向けて、地に足を付けて、着実な成長を目指したい、という意気込みが記されていました。

夢も理想も十人十色。そこにたどり着くまでの道のりは、たやすいものではないけれど、それぞれの歩幅で、諦めずに歩き続けていくことを、心から願っています。

新しい制服・新しい伝統

12日(金)、1年生は学年集会を開いて、制服について学習しました。講師は、この制服の改定から製造・販売に関わってくださった担当者のお二人。1年生は、「新しい制服の特長」「制服を着る意義」などについて、クイズなどを交えながら、学んでいきました。



【袖口に縫い込まれた反射材を確認。夜間でも身を守る工夫が施されています】



【袖の糸をほぐせば、サイズ調節が可能…と講師の方から直接教わります】



【話を真剣に聞き、クイズにも全員が積極的に手を挙げて参加しました】

○ 制服によって、「組織の一員であること」が分かり、外部から来た人と区別することができるため、身を守ることにつながる。

○ 同じ制服を着ることによって、所属や職業などが分かり、互いに仲間意識を持つことができる。……というような、「制服の持つ役割」についての話を、初めに聞きました。

また、「人の印象は、6秒で決まる」と言われており、しかも、視覚的な印象が最も強い傾向があることから、「制服を正しく着ることの大切さ」についても、話がありました。

朝、校門前に立っていると「制服が替わったんですね。かっこいいですね」と、声をかけてくださる方が、少なくありません。制服を通して、1年生の立ち居振る舞いには、全校から、そして地域の方からも、注目が集まっています。本校の新しい伝統を、しっかりと築くことができるよう期待しています。